

地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクト

## 令和7年度第2回地域家庭教育推進県中ブロック会議

□ 日 時

令和8年1月22日(木) 13:30~15:50

□ 会 場

郡山合同庁舎仮設庁舎 第1会議室



【出席者】

- 県中ブロック会議 アドバイザー
- 家庭教育支援者 特定非営利活動法人郡山のびのび福祉会 代表
- スポーツ支援者 特定非営利法人かがみいしスポーツクラブ 理事長
- 郡山青年会議所理事 青少年育成委員会委員長
- 郡山市私立幼稚園・認定こども園PTA連合会（富久山幼稚園PTA会長）
- 家庭教育支援チーム kokoyori 代表
- 家庭教育支援チーム 須賀川市家庭教育インストラクター 委員
- 家庭教育支援チーム 郡山家庭教育を支援する会 副会長
- 家庭教育支援チーム CAP こおりやま 代表
- 保護者代表 前田村地方PTA連合会 代表

□ 日 程

時 間	内 容	
13:30 ～	開 会 行 事	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 主催者あいさつ</li><li>○ 日程説明・諸連絡</li></ul>
13:40 ～	協 議	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 令和7年度事業報告・協議</li><li>「県中つながるプロジェクト」今年度の取組と次年度にむけて</li></ul>
15:45 ～	閉 会 行 事	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 諸連絡</li></ul>



# 協議「県中つながるプロジェクト」今年度の取組と次年度に向けて

令和6年度

どうしたらいいのかな。  
つながってみようかな。  
つなげてみようかな。  
よしつながってみる、つながっちゃった。  
本当につながったのかなあ、  
やっぱりつながってる。



子どもたちを取り巻く家庭環境は、少子化、核家族化、共働き、ひとり親家庭の増加など多様化・複雑化しています。また、地域のつながりの希薄化により家庭が子育ての課題を抱え込みやすい環境になっていています。

このような時代だからこそ、「つながる」ことの大切さについて確認しました。

## 今年度の取組

令和7年度

第1回ブロック会議 (2025.6.5)より



つながったから分かる  
つながらなかつたら分かったつもり  
とにかくつながる経験

すばらしいキャリア・センス・スキル  
をお持ちの皆さん方と一緒に、  
何ができるかと考えるとちょっとわくわく

つながれるかなあというところを模索する  
1年に。1月にちょっとでもいいから  
こんなことができましたっていうのを、  
見せ合えたならうれしいな

まずは、我々がつながってみる！  
ブロック会議のメンバーがつながって  
できることを模索していく1年にしてい  
きましょう。

委員の皆様のキャリアや、センス、ス  
キルをいかした「県中つながるプロジェ  
クト」が始動しました。

## 県中つながるプロジェクト始動



## 今年度の振り返りより

地域の方とのつながりを大切にしてきた。防災訓練と一緒に行ったり、栽培活動など手伝っていただいたりして、地域とともに活動できた。また、こども園を育った中学生たちが、吹奏楽部に入部し、演奏会のプレゼントをしてくれた。中学校とのつながりも生まれた。

子ども食堂同士のつながりの中  
で、それぞれの目線で家庭と子ど  
もを見守ることができる。市内だ  
けでなく、市外から子ども食堂へ  
来る家庭もある。遠いからこそつ  
ながることができるということも  
ある。

今年度は「スポーツ」に力を入れるなど、テーマを絞って、子どもたちとつながる活動に取り組んだ。活躍しているスポーツ選手と一緒に運動した。小学生から高校生、大学生まで参加するつながりつくりとなった。

グループの活動内容を広く知ってもらう機会を設けた。少しずつ広がってきてている。知らない地域でワークショップを開催することは難しいが、このブロック会のような対面でのつながりを大切にしたい。

保護者同士のつながりは、子どもたちがつながるよいきっかけとなっている。積極的に地域に出ることにより、友達から友達へ、近所の方から近所の方へ、つながりが広がってきている。

就学時健診の際に、子育てに関する講演をした。地域の人に顔を分かってもらうことでつながっていく。地域の方や、子どもたちに気軽に声をかけてもらえる存在でありたい。

たむら地域活動部を立ち上げて3年目となる。学校や年齢の垣根を越えて、幼稚園児から高校生までダンスの活動を支援している。地元のイベントとつながる機会が増え、地域の活性化にもつながっている。



生涯学習課、学校、幼稚園とつながって活動してきた。会報誌を発行したり、子育てに関する講演を開催したりして、子育て世代だけでなく、祖父母ともつながってきた。

つながるプロジェクト事務局（県中教育事務所）としては、委員の活動情報を収集し、委員の皆様に参加の有無を確認したり、ボランティアを呼びかけたりした。また、社会教育だよりで「つながるプロジェクト」の活動の様子を、各学校・公民館、応援企業等に情報を発信した。

## 次年度に向けて

## 次年度の「つながり」に向けたグループ協議より

- 令和8年度の第1回目のブロック会議では、それぞれの委員の年間活動計画や活動場所が分かる資料を持参できればいいのでは。そうすることで、お互い参加できそうなときが明らかになるね。
- 事務局を毎回通さずに、自分たちが自主的につながって活動できそうだね。



- みんながまとまって、イベントみたいなことをやったらおもしろそうだね。
- 既存のイベントに、参加できそうな人が、ボランティアでもいいし、出店してもいいし、ちょっと参加する形もいいですね。



## 県中つながるプロジェクト つづく



委員のみなさんはそれぞれのバックグラウンドがあり、無から有を生み出す熱意と積極性、豊かな創造力をお持ちの方々です。

そのみなさんが胸襟を開いて話し合うこと、それ自体が「つながる」とことなのだと、じわじわと実感しました。

グループ協議では、1班も2班でも、具体的な連携について話題になりました。たった2回だけの集まりなのに、委員の皆様の一体感には驚きました。そして、同時に、ここにいる人たちはみんな「つながりの達人」なのだと知りました。

皆さんと協議した時間は、心地よい時間で、来年度もやるぞ、と思える会議でした。

《総括：県中ブロック会議アドバイザー》

### 《成果○と課題●》

- それぞれの団体の「つながる」を意識した強みのある取組が、地域の家庭教育支援につながっていた。
- 団体同士のつながりを強め「つながる」活動を積極的に展開したい。